



5月21日（金）「日本人の『思いやり』を世界が見ている」

宇宙飛行士の若田光一さんは東日本大震災の第一報を現地時間の3月10日の午前零時頃、米テキサス州ヒューストンで聞いた。アメリカでもニュースで連日取り上げられ、津波の被害の様子や被災者の生々しい映像や福島原発の被災も大々的に報道された。そんな中で、各国の宇宙飛行士の仲間や関係者から、「家族は大丈夫か」「筑波の皆は元気か」「自分に何かできることはないか」と声を掛けられた。被災者への救援や被災地の復興を支援したいと世界が一つになって日本に応援メッセージを送っているようだった。また、アメリカでは、これほどの緊急事態に陥りながら、略奪行為や暴動もなく、秩序を重んじて災害に対処する日本国民の姿が高く評価され、皆が協力し、助け合う姿に感銘を受けるという報道が多かった。「これが世界に誇れる日本人の国民性だ。互いに相手を『思いやる』気持ちが強くと、いざとなれば皆がそれに根ざした行動がとれる。これはすばらしいことだ。」と若田さんは述べる。

みんなの感想

1年生

- 確かに地震で友人が亡くなる人もいますが、助け合って行動する力、日本人のすばらしい長所だと思いました。
- 日本は協力し合って乗り越えてきました。それが外国の方にも同じようにできたら、みんなが助け合えるし、苦しい中でもまだ苦しさはなくなると思いました。
- 私たちは当たり前のように、この平和な日本で過ごしているけど、被災時に皆が助け合って町を復興させていこうとするのは素晴らしいんだなと思った。日本の素敵な思いやりの心、国民性はずっと続いてほしいと思った。
- 地震が起きてから、各国の宇宙飛行士の仲間や関係者の人達が心配して声をかけてくれていて優しい人だなと思った。南海トラフ地震が起きても、思いやる気持ちを持ち続けたい。
- 若田さんはつらかったと思うけど、仲間の人が思いやってくれたのはすごいと思った。日本人は思いやりの心強いんだなと感じて、私もそういう人間になりたいなと思いました。
- 思いやりを持って、緊急時も自分だけでなく、周りの人にも目を向けることができる、そんなふうにもなりたいなと思いました。

2年生

- この話では、日本人の国民性が素晴らしいと評価されているけど、若田さんの家族や日本のことを心配していたアメリカ人も素晴らしいと思います。
- 高い空の上で最悪の事態が伝えられ、何ができるのか分からない時、日本の皆が互いに協力しあい、復興していく姿はとても輝いていて、美しいものだと思う。
- 人々が困っていたら、助け合っていて感動した。そのすごさをアメリカや他国の人が見て感銘を覚えていて、私も誰かが困っていたら自分から助けてあげたいです。
- 何が起きても、人を思いやりながら、これから生活していきたいと思いました。人を思いやることはとても大切なことだと改めて実感しました。
- あの地震で被災した人も多くいたと思います。海外の人々に助けてもらい、今の日本があると思います。次は日本が助けられる国になりたいです。
- 震災というつらく苦しいことが起きてしまっても、自分のことだけじゃなく、お互いを助け合えるのはすごいことだと思いました。私も自分だけじゃなく、他の人も支えられるような人になりたいです。
- 日本で起こった地震のニュースが外国でも取り上げられていたり、助けようとしてくれたりしていることを初めて知った。

3年生

- 日本のことを高く評価しているところがアメリカのいいところだと思いました。皆が協力し、助け合うことはとても大切なことだなと思いました。
- 日本人の対応は「思いやり」にあふれているなと思いました。私も他人に対しても自分に対しても親切であり、助けることができる人になりたいなと思いました。
- 他人を「思いやる気持ち」が強いという世界に誇れる行動を私たちも受け継いでいく事が大切だと思いました。
- 例えどんな状況であっても、人を思いやる気持ちは忘れてはいけないと改めて感じました。だから私はどんな時でも困っている人がいて、大変な状況だとしても手を差し伸べてあげようと思いました。
- これほどの緊急事態に陥りながら略奪行為や暴動もない日本国民の姿は素晴らしいと思います。私も正しい冷静に災害や様々なことに取り組んでいきたいです。
- 被災しても自分のことだけでなく、周りに手を差し伸べて協力することは素晴らしいことだと思いました。「思いやり」の気持ちを大切にしたいです。

きりとり

この通信をご覧になったの感想などを気軽にお書き下さい。返信欄は切り取ってお子様を通じて担任まで提出して下さい。ご協力お願いいたします。